

平成 2 8 年 度 決 算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 2 9 年 7 月

倉吉総合看護専門学校

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6 頁
11	不納欠損額調べ	6 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9 頁
14	財産に関する調べ	9 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	14 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	職員旅費の執行状況調べ	15 頁
	(1) 旅行伺の事前承認	
	(2) 旅費概算払の精算等	
	(3) 旅費の計算	
	(4) 旅費の適正執行の取組状況等	
23	当該年度における業務の概要	16 頁
24	学生の入退学等移動状況調べ	19 頁
25	学校卒業者の就職等状況調べ	20 頁
26	教育計画とその実績	20 頁
27	主な施設の整備状況調べ	21 頁
28	意見、要望	21 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局（所）名	課名	係（班）名	課の主な所掌事務
倉吉総合看護専門学校			看護師・助産師として必要な知識及び技能を習得させるための事務

4 職員の定員、現員調べ

(平成29年 4月 1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	
定員	2	2	20	20	0	0	22	22	
現員	2	2	(1) 20	(3) 21	0	0	22	23	育休：H29.1.21～H29.9.29
過不足(Δ)	0	0	0	1	0	0	0	1	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	27	25	0	0	28	26	外部講師25、助産学科講師1 舎監1、育休代替1

5 役付職員の調べ

(平成29年 7月 1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
校長	(併) 皆川 幸久	年 0	月 3	本務 厚生病院長
副校長	中田 映子	2	3	
教務課長兼教務主幹	初田 玲子	2	3	5年
次長	(兼) 谷本 真二	7	3	出納員 中部療育園次長兼務
教務主幹	古磯 祥子	4	3	
教務主幹	野島 千恵	0	3	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
倉吉総合看護専門学校管理運営費	43,013		19,842	23,171
将来ビジョン				
政策項目	1. 学生の確保 2. 教育の質の向上			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
1. 看護職員養成施設として、優秀な入学者確保のために学校の実績や魅力を紹介し、入学定員の確実な確保を図る。				
2. 看護学科においては、看護実践力の向上を目指し「客観的臨床能力試験」「医療安全教育」「統合実習」の教育内容の充実・強化を図る。助産学科においては、地域母子保健能力の向上を目指し地域の妊産婦を対象とした健康教育の充実・強化を図る。				
(イ) 事業の実施状況				
1. 学生確保				
○オープンキャンパスの実施(8月3日(水)) 130名参加				
○県内高等学校・看護学校訪問 29施設				
○進学相談会等への参加 6回(参加者数59名)				
○社会人入試PRのための資料設置依頼				
○教員による保護者・小学生等への健康教育の実施 2回				
2. 教育の質向上				
○客観的臨床能力試験の指導方法の検討及び実施				
○地域住民の協力(模擬患者)を得ながら、多重課題・業務中断の条件設定での医療安全学習の実施				
○臨床で求められる能力を身につけるため複数患者をチームで受け持つ統合実習の実施				
○地域の妊産婦を対象とした小集団教育活動の実施				
○計画的な実習指導者会議(指導法検討及び情報共有等)の実施				
○国家試験合格に向けた計画的模擬試験の実施と個別指導の実施				
イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
1. 学生確保				
○推薦入試の対象校(高等学校)を拡大し、学校訪問を6校増やし実施した。				
2. 教育の質向上				
○助産学科では地域住民を対象とした小集団教育に更年期の健康教育を追加企画し、運営した。				

ウ 成 果（※必ず記入すること。）

1. 学生確保

○第1看護学科は入学試験志願者数が増加した。3学科共学生定員が確保出来た。

【過去5年間の入学試験志願者数】

年度	助産学科	第1看護学科	第2看護学科
平成29年度	36	96	31
平成28年度	36	76	41
平成27年度	39	81	53
平成26年度	55	108	38
平成25年度	38	133	47

エ 課 題（※必ず記入すること。）

1. 学生確保

①助産学科は受験志願者数の減少無く、定員確保出来たが、志願者数の増加には至らなかった。第2看護学科は定員は確保できたが、前年度より10名減の志願者数となった。

③受験志願者の増加対策として、受験生の負担要因や受験を敬遠する要因を分析する。第2看護学科については、他校の試験科目を参考にし平成30年度から数学Iの科目を削除し、3科目に変更する。入学試験の科目変更について、学校訪問時説明を行う。

7 収入証紙取扱額調べ

(平成29年5月31日現在)

目	収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
	節	細節				
衛生手数料	衛生手数料	看護師等養成施設試験手数料	151	円 2,600	円 392,600	平成29年度入試 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 35名 87名 29名
		看護師等養成施設入学料	61	5,550	338,550	平成28年度入学 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 16名 25名 20名
		看護師等養成施設卒業証明書 発行手数料	13	420	5,460	
		目計(節)	225		736,610	
		目計	225		731,610	
		合計	225		731,610	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成29年5月31日現在) (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
衛生使用料	倉吉総合看護専門 学校授業料	衛生使用料	1,797	16,891,800	16,891,800	0	0	看護師等養成施設設置条例	
		目計	1,797	16,891,800	16,891,800	0	0		
行政財産使用料	行政財産使用料	行政財産使用料	39	1,039,704	1,039,704	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		目計	39	1,039,704	1,039,704	0	0		
		合計	1,836	17,931,504	17,931,504	0	0		

(3) 手数料

(平成29年5月31日現在) (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
衛生手数料	衛生手数料	看護師等養成施設試験手数料	9	23,400	23,400	0	0	看護師等養成施設設置条例	
		看護師等養成施設卒業証明書発行手数料	6	2,520	2,520	0	0	鳥取県手数料徴収条例	
		目計	15	25,920	25,920	0	0		
		合計	15	25,920	25,920	0	0		

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成29年5月31日現在) (単位:円)

収入目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
延滞金	延滞金		1	130	130	0	0	延滞金徴収条例	授業料に係る延滞金 光熱水費に係る延滞金
			1	485	485	0	0		
	目計		2	615	615	0	0		
雑入	雑入		135	2,157,540	2,157,540	0	0	公有財産事務取扱要領	寮光熱水費 自販機電気代 看護教育実習謝金 災害支援助成金 複写機電気代
			4	25,528	25,528	0	0		
			2	148,000	148,000	0	0		
			38	30,098	30,098	0	0		
		目計	1	181	181	0	0		
	目計		142	2,361,347	2,361,347	0	0		
	合計		144	2,361,962	2,361,962	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成29年5月31日現在) (単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
看護師等養成施設試験手数料	23,400	
看護養成施設卒業証明発行手数料	2,520	
合計	23,920 (11件)	

イ つり銭の状況 該当なし

9 収入未済額調べ

(平成29年5月31日現在) (単位:円)

収入科目	区分	過年度				年度分			現年度分		収入未済額 計 A+B	未收理由
		前年度以前からの繰越額	左のうちの収入額	不納欠損額	収入未済額 A	収入未済額の調定年度内訳			収入未済額 B			
						24年度以前	25年度	26年度				
衛生使用料	倉吉総合看護専門学校授業料	0	0	0	0	0	0	16,891,800	16,891,800	0		
	目計							16,891,800	16,891,800	0		
	合計							16,891,800	16,891,800	0		

10 未収金回収促進のための取組状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金		(平成29年 5月31日現在) (単位:円)					
予算科目 (目)	予算令運額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額 (規約、要領等を含む)	備考
倉古総合看護専 門学校費	—	—	—	—	—	—	文書ID:16-00004051
新規以外のもの 目 計						544,344 544,344	文書ID:16-00006200 文書ID:16-00010599
合 計						544,344	

(2) 補助金 該 当 な し

(3) 交付金 該 当 な し

(4) 委託料

(平成29年 5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 単 の 別	委託料の 名 称	委託契約の 相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考		
				当 格	契約 額			契約 期間	支出 区分	支 出 年 月 日		金 額	
													変更 契約(最終)
倉吉総合看護 専門学校費	単 単	庁舎警備	A L S O K 山陰(株)	(28.3.30)	H28.4.1~	H28.3.16外	H28.4.30	精 算	H28.5.11 外	311,040	311,040	文 書 ID 15-000179479	
				311,040	H29.3.31	(免除)	H28.5.1 外						
				()		随							
		前庭管理	(有)辰巳園	(28.3.30)	H28.4.1~	H28.3.17	H28.7.16	精 算	H28.8.4	247,320	247,320	文 書 ID 15-00179474	
				247,600	H29.3.31	(免除)	H28.7.19 外						
				()		随							
		一般廃棄物 処理	(株)クラエー	(28.3.30)	H28.4.1~	H28.3.16外	H28.4.30	精 算	H28.5.12 外	183,600	183,600	文 書 ID 15-00179482	
				183,600	H29.3.31	(免除)	H28.5.1 外						
				()		随							
予定価格が20万円 万円未満のもの		入試問題作 成、採点等	()	(28.5.31)	H28.5.31	H28.5.24	H29.2.28	精 算	H29.3.16	2,239,920	2,239,920	文 書 ID 16-00032728	
				2,271,540	H29.2.28	(免除)							
				()		随							
目 計										393,120			
										3,375,000			
児童福祉施設費	単 単	一般廃棄物 処理	(株)クラエー	(28.3.30)	H28.4.1~	H28.3.16外	H28.4.30	精 算	H28.5.12 外	87,000	86,400	86,400	文 書 ID 15-00179482 上記一般廃棄物処 理委託と合わせて 契約
				87,000	H29.3.31	(免除)	H28.5.1 外						
				()		随							
目 計													
予定価格が20万円 万円未満のもの													
目 計											86,400		

財産管理費	単県	屋内消火栓 漏水調査用 系統バルブ設 置(調査)	(有)山崎商会	H28.12.6 386,640		H28.12.6 H29.3.31	H28.12.6 (免除)	H29.2.6 H29.2.6	精算	H29.2.17	386,640	文書ID 16-00150743
				()	随							
予定価格が20万円 万円未満のもの											116,640	
目計											503,280	
合計											3,964,680	

13 工事請負費調べ
該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産
土地

(平成29年3月31日現在)

行政・ 普通財産 の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減 理由	登記 年月日	面積 (㎡)		価額 (円)
行政 財産	倉吉総合看 護専門学校	倉吉市 南昭和町15	11,220.88	234,245,095							11,220.88	234,245,095
合計			11,220.88	234,245,09							11,220.88	234,245,095

イ 建物

(平成29年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考	
			目計面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)
行政財産	本館	倉吉市南昭和町15	2,664.83	276,585,000		H		2,664.83	276,585,000			
	大会講室・浴槽・機械室	"	442.39	48,848,000		H		442.39	48,848,000			
	寄宿舎	"	1,823.33	200,873,000		H		1,823.33	200,873,000			
	物干場	"	54.00	748,000		H		54.00	748,000			
	プロハンガス庫・機械室	"	14.40	360,000		H		14.40	360,000			
	自転車置場	"	13.50	510,000		H		13.50	510,000			
	体育館	"	464.80	46,319,973		H		464.80	46,319,973			
	渡り廊下	"	18.14	-		H		18.14	-			価額は、体育館価額に含まれる。
	実習棟	"	395.38	68,847,043		H		395.38	68,847,043			
	渡り廊下	"	17.20	-		H		17.20	-			価額は、実習棟価額に含まれる。
	自転車置場1	"	13.50	495,000		H		13.50	495,000			
	自転車置場2	"	9.00	495,000		H		9.00	495,000			
倉庫	"	29.17	1,690,000		H		29.17	1,690,000				
計			5,959.64	645,676,016			5,959.64	645,676,016				
普通財産			-	-		H		-	-			
計						H						
合計			5,959.64	645,676,016			5,959.64	645,676,016				

ウ 山林 該当なし
 エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
 オ 物権 該当なし
 カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
 キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況
 ア 金券の受払状況

(平成29年 3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		差引	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	75,764 円	64,600	97,206	43,158	
合計	75,764	64,600	97,206	43,158	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成29年 3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度中			差引未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	不使用及び処分	
枚	枚	枚	枚	枚
55	500	324,110円 313枚	8	234

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物
ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	コンクリート柱	倉吉市南昭和町15	4本	H25.2.21	H15.3.31	H25.4.1~H30.3.31	昇替・年額 6,000	6,000	倉吉市駄穰寺245-6 中国電力(株)倉吉営業所長
合計								6,000	

(平成29年3月31日現在)

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	サービスマシン自動販売機	倉吉市南昭和町15	1.1306㎡	H26.3.20	H26.3.20	H26.4.1~H30.3.31	昇替・年額 19,920	19,920	鳥取市行徳1丁目351-2 鳥取ベブシコ一フ販売(株) 代表取締役 奥村元昭
	図書室複写機設置	同上	0.40㎡	H28.3.15	H20.4.1	H28.4.1~H29.3.31	免除		倉吉総合看護専門学校後援会 長 竹安友子
	第1看護実習室会議室	同上	232.09㎡ 65.47㎡	H28.6.13	H28.6.13	H28.8.1~H28.8.9	月額・年額	30,858	鳥取市伏野1729-5 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 事務局長 杉本新二
合計								50,778	

(平成29年3月31日現在)

(2) 物品

- 16 借受不動産明細調べ 該当なし
- 17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場
ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	倉吉市南昭和町15	9.9	3,766
普通財産			

イ 異動状況
(行政財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	人	20人	人	うち減免	人			
4月	0人		人	20人		20人		75,320円		
5月	20			1		21		79,086円		
6月	21			1		22		82,852円		
7月	22	1				21		82,852円		
8月	21					21		79,086円		
9月	21					21		79,086円		
10月	21					21		79,086円		
11月	21	1		1		21		82,852円		
12月	21					21		79,086円		
1月										
2月										
3月										
合計								719,306円	719,306円	0円

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成29年3月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本 年 度		備 考
					車 検 年 月 日	修 理 費 等	
軽自動車 (貨物)	H14	鳥取41い9647	保管換 H24.1.13	43,342 km	H28.6.30	81,130 円	
合 計		1 台				81,130	

19 寄附物件の受納状況調べ

該 当 な し

20 備品の処分状況調べ

該 当 な し

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成28年10月31日 ～ 平成28年12月20日	・有 ○・無	—	—

2.2 職員旅費の執行状況調べ

注 1 旅費システムの旅行命令簿：完結分（全表示）のデータをベースにして作成すること。
 2 平成28年12月1日以降に発生した一般旅行を対象とすること。

(1) 旅行同の事前承認

旅行総件数	旅費システムで発令日が出発日より遅い件数 ①	①のうち履歴で事前承認が確認できた件数 ②	①のうち②以外で緊急等特別な理由があった件数 ③	特別な理由もなく事前承認がされていない件数 (①-②-③)	備考
72	0	0	0	0	

(2) 旅費概算私の精算等

ア 概算私の精算が旅行完了日の翌日から2週間以上経過しているもの（零精算を除く）…………… (5 件中 0 件)
 注 零精算も2週間以内の精算が必要であるが、調書には零精算以外を記載すること。
 イ 精算私が旅行完了日の翌日から30日以上経過しているもの…………… (5 件中 0 件)

(3) 旅費の計算

用務先	旅行期間	用務内容	支出金額	備考
東京都千代田区	H28. 12. 9~H28. 12. 11	第36回 日本看護科学学会学術集会の参加	96,516円	
東京都千代田区	H28. 12. 14~H28. 12. 15	平成28年度副学校長・教務主任会	82,702円	
東京都文京区	H29. 2. 25~H29. 2. 26	マタニティ診断ワークショップ 参加	64,400円	
徳島市藍場町	H29. 3. 17~H29. 3. 19	第31回 日本助産学会学術集会	43,180円	
〃	H29. 3. 17~H29. 3. 19	第31回 日本助産学会学術集会	43,000円	

注 1 県外の宿泊を伴う旅行から支出金額の多い順に5件選定して記載すること。
 2 複数の職員が同一の旅行を行っている場合は、支出金額が多いものを1件記載すること。

(4) 旅費の適正執行の取組状況等

職員旅費について、旅程の審査を適正に行い、過大な支出とならないよう執行した。また、出張前に旅行命令権者の承認を得ることを厳守した。

注 平成27年度決算に係る定期監査結果報告書の重点事項に係る監査意見を踏まえた取組状況を記載すること。

看護専門学校個別事項

2.2 当該年度における業務の概要

(1) 学校のPR、地域貢献（主な事業に記載）

学校のPR、地域貢献を積極的に行い、学生の確保を図る。

- オープンキャンパスの実施 1回 参加者130名
- 県内高校・看護学校へ学校PRのための訪問の実施 施設数 29施設
- 社会人入学制度PRのため看護協会等への資料設置依頼
- 進学相談会等への参加 6回 参加者数 59名
- 教員による保護者・小学生等への健康教育の実施 2回

志願者数（推薦・社会人含む。）

（ ）内は定員

年度	助産学科	第1看護学科	第2看護学科
22	60 (16)	114 (25)	42 (20)
23	43 (16)	125 (25)	31 (20)
24	52 (16)	100 (35)	48 (20)
25	38 (16)	133 (35)	47 (20)
26	55 (16)	108 (35)	38 (20)
27	39 (16)	81 (35)	53 (20)
28	36 (16)	76 (35)	41 (20)
29	36 (16)	96 (35)	31 (20)

※平成23年度から第1看護学科を定員増（定員25名→35名）

推薦入学・社会人入学の状況

学 科	推薦入学試験			社会人入学試験		
	募集数	推薦者	合格者	募集数	志願者	合格者
助産学科	6	2	2	3	2	1
第1看護学科	20	30	21	—	—	—
第2看護学科	3	1	1	3	1	0

(2) 教育環境の整備

- 該当なし

(3) 看護教育の充実

○平成23年度からの新カリキュラムの内容の充実。

1) 看護学科

* 客観的臨床能力試験（OSCE）の充実

平成26年度に改善したOSCEの評価鏡を継続活用し、学生の状況判断と援助計画につながりを確認・分析した。

* 安全な看護を提供できる判断力や実践力を養うための医療安全の授業では、臨床で用いる物品を活用し、より臨床の実践状況に近い場面を想定した演習方法を導入した。

* 複数患者をチームで受け持つ実践能力を育成するため「統合実習」でケースカンファレンスを毎日実施し、リーダー役割を意識した実習展開とした。

2) 助産学科

* 新生児の救急対応技術取得のため、「新生児蘇生法（NCPR）」研修に学生全員が参加した。

* 地域母子保健の実践として、地域の妊産婦を対象とした分娩準備教育や更年期フォーラムを実施した。

* 全国の助産師学校でも取り組みが少ない思春期の学童（小学校）を対象にした「命の教育」を継続実践した。

○全国的に注目されている講師を招いて魅力ある授業を実施し、教育の質の向上を図る。

助産学科 日程 平成29年1月16日
 講演 「災害時の母子への支援」
 講師 神戸市看護大学助産学専攻科 教授 高田昌代

(4) 実習体制の整備

実習体制を整備し、教育内容の充実を図る。

○実習指導者を定期的に開催し、実習指導者と教員の連絡調整をきめ細かく実施した。また、臨床実習での実践技術について「基本看護技術水準」に沿った実習指導について検討会を行った。

○看護教育への理解を深めるために、実習指導者養成講習会の講師や実習施設の研修への協力を積極的に行った。

(5) 国家試験対策の強化

○国家試験対策として、特別授業や模擬試験を実施し、知識の定着とエビデンス(科学的根拠)の強化を図る。

【参考：平成28年度国家試験合格状況】

学 科	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	全国合格率(%)
助産学科	16	16	100.0	93.0
第1看護学科	33	31	93.0	88.5
第2看護学科	20	18	90.0	

(6) その他の教育

○人権教育の実施(看護学科)

ア 研修旅行(7月1日(金)) 長島愛生園見学

イ 人権関係講義の実施

講演：「インターネットと人権」

講師：鳥取県ケータイ・インターネット教育推進委員 法務省人権擁護委員 今度珠美

対象：新入生 5月12日 61名

ウ 人権社会論 聴覚障害とコミュニケーション技術(手話)の理解

講師：聴覚障害者協会

対象：第1看護学科1年生25名及び第2看護学科1年生20名

○専門的学術集会等への参加

ア 第57回日本母性衛生学会学術集会参加(10/14~10/15) 品川プリンスホテル

イ 第35回鳥取県母性衛生学会学術講演会参加(1/26) 米子市

ウ 第47回日本看護学会-慢性期看護-学術集会(11/10~11/11) 米子市

(7) スクールカウンセラーの配置(平成19年度から配置)

毎週月曜日 午後4時~5時30分 利用者数 実人員 6人 延べ36人(H29.3月現在)

(8) 教員研修の実施

日 時：平成28年8月8日

講 演：「発達障がい傾向を有する学生に対する支援」

講 師：スクールカウンセラー 河本とし子

参加者：教員22名、実習指導者等23名 計45名

(9) 教員の研究・地域貢献活動等

①倉吉市介護予防教室

講師：副校長 中田映子

テーマ：「認知症予防 だれでも今日からできる方法」

日時：平成28年5月31日

対象：倉吉市内在住の介護予防教室利用者 66名

②鳥取県立厚生病院院内看護研究支援

講師：教務課長 初田玲子

日時：平成28年5月14日 18組

平成28年8月27日 18組

平成28年11月26日 15組

③鳥取県立厚生病院院内看護研修

講義：教務主幹 西川淳子

テーマ：「ヘンダーソンの看護理論」

日時：平成28年5月17日

平成28年6月6日

対象：厚生病院看護師15名

④鳥取県立中央病院院内看護研究支援

講師：教務課長 初田玲子

日時：平成28年6月25日 看護師14組

平成28年8月20日 看護師14組

平成27年11月21日 看護師14組

平成29年1月28日 講評

⑤鳥取県立厚生病院院内看護研修

講師：教務主幹 西川淳子

テーマ：「臨床実習における基本的な学生指導」

日時：平成28年7月19日 看護師 14名

⑥倉吉市ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座

講師：講師 森井 真紀子

テーマ：「子どもの安全と病気／病気の子どもの世話」

日時：平成28年11月30日

対象：ファミリー・サポート・センター提供会員7名 保育士2名

⑦平成28年度看護職員再就業支援研修

講師：副校長 中田映子

テーマ：「認知症を中心とした高齢者の看護」

日時：平成28年9月13日

対象：未就業・就業後1年未満の学習を希望する看護職有資格者4名

⑧平成28年度鳥取県看護職員実習指導者養成研修会

平成28年8月9日 実習指導の原理（母性） 橋井美紀教務主任

平成28年8月15日 実習指導の原理（成人） 初田玲子教務課長

平成28年8月26日 実習指導の評価 石前紅子教務主任

グループワーク指導 精神：西川淳子教務主幹 成人：尾田恵講師

2.3 学生の入退学等移動状況調べ

(単位：人) (平成29年3月末日現在)

区分	入学進級 直後の 学生数	月 別 異 動 状 況														差引 現在数	備考	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計				
第 一 学 年 第 一 学 科	休学	25															25	
	退学																	
	復学																	
	除籍																	
	休学	35												1	1	33		
	退学							1							1			
	復学																	
	除籍																	
	休学	35															34	
退学				1										1				
復学																		
除籍																		
第 二 学 年 第 一 学 科	休学	20														20		
	退学																	
	復学																	
	除籍																	
	休学	20														20		
	退学																	
復学																		
除籍																		
助 産 学 科	休学	16														16		
	退学																	
	復学																	
	除籍																	
合 計	休学	新入・進級者 151												1	1	148		
	退学				1			1							2			
	復学																	
	除籍																	

※ () 書きは、外数

2.4 学校卒業者の就職等状況調べ

(単位：人) (平成29年3月末日現在)

区 分		就 職						進 学	そ の 他	合 計	備 考	
		県 内			県 外							計
		公的医 療機関	民間医 療機関	その他	公的医 療機関	民間医 療機関	その他					
第1 看護 学科	平成24年度	10	5	—	—	—	—	15	5	—	20	
	平成25年度	19	6	—	—	4	—	29	4	2	35	
	平成26年度	17	7	—	1	1	—	26	4	4	34	
	平成27年度	13	18	—	—	2	—	33	1	1	35	
	平成28年度	15	8	—	1	3	—	27	4	2	33	
第2 看護 学科	平成24年度	10	9	—	—	1	—	20	—	—	20	
	平成25年度	2	13	—	1	1	—	17	—	1	18	
	平成26年度	5	13	—	—	—	—	18	2	—	20	
	平成27年度	6	12	—	—	—	—	18	—	2	20	
	平成28年度	5	12	—	—	—	—	17	1	2	20	
助産 学科	平成24年度	8	—	—	4	3	—	15	—	1	16	
	平成25年度	5	2	—	1	8	—	16	—	—	16	
	平成26年度	6	3	—	4	2	—	15	—	1	16	
	平成27年度	9	2	—	2	2	—	15	—	—	15	
	平成28年度	6	5	—	4	1	—	16	—	—	16	
合計	平成24年度	28	14	—	4	4	—	50	5	1	56	
	平成25年度	26	21	—	2	13	—	62	4	3	69	
	平成26年度	28	23	—	5	3	—	59	6	5	70	
	平成27年度	28	32	—	2	4	—	66	1	3	70	
	平成28年度	26	25	—	7	2	—	60	5	4	69	

2.5 教育計画とその実績

(単位：時間) (平成29年3月31日)

学 科 名 等	基準	第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年				
		計 画	実 績 A	計 画	実 績 B	計 A+B	計 画	実 績 C	計 A+B+C	
第1看護 学科	第1学年	学 科	990	992	997					
		実習課程	135	135	135					
	第2学年	学 科	750		750	760	1,757			
		実習課程	315		315	315	450			
第3学年	学 科	225					225	229	1,986	
	実習課程	585					585	585	1,035	
第2看護 学科	第1学年	学 科	1,170	1,170	1,181					
		実習課程	135	135	135					
	第2学年	学 科	285		285	287	1,468			
		実習課程	585		585	585	720			
助産 学科	学 科	600	626	638						
	実習課程	495	495	545						

* 基準欄の数値は学則で定めた時間

26 主な施設の整備状況調べ

○鳥取県中部地震後の修繕（クラック修理、ファンコイルの撤去、エアコン室外機の修理、壁亀裂修理等）

工 事 名	工事請負額 (円)	請 負 者	検 査 日	支 払 日
クラック等修繕工事	453,600	(有)河崎組	H29.2.6	H29.2.16
室外機基礎修繕工事	415,800	(有)足立水道設備	H29.3.13	H29.3.17
サービス棟寄宿舍棟接続部EXP修繕工事	302,400	(株)高野組	H29.3.21	H29.3.28
ファンコイル撤去及び壁面修理	216,000	大和設備倉吉(株)	H28.11.30	H28.12.9
屋内消火栓漏水調査用系統バルブ設置(調査)	386,640	(有)山崎商会	H29.2.6	H29.2.17
屋内消火栓漏水調査委託	116,640	(有)山崎商会	H29.3.17	H29.3.28
合 計	1,891,080			

27 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

- 第1看護学科の学生定員の増により、平成25年度には第1看護学科の学生が全体で30名増加した。平成25年度に第1看護学科の講師1名が定数増となったが、奨学金や修学資金の手続き、外部講師謝金の支出負担行為、図書室の管理、寮の管理等の多くの教務事務を担っている。引き続き、教員が教育に専念できる体制を整えていただきたい。
- 平成28年度3名の育休取得講師があったが、看護教員有資格者の補充は叶わず、看護師資格を有する非常勤職員で何とか対応を行った。教育レベルを維持して専門職を育成するために、看護教員の有資格者を確保できるような人事管理・配置をお願いしたい。
- 助産学科は現在教員3名の体制で運営している。実習施設6施設のうち1施設は東部地区にある。夜間も実習施設に出向き、分娩介助の指導を行っている。また、地域での育児支援実習には教員の同行が必要であり非常勤講師をあてているが、効果的な学習支援のために教員の定数増をお願いしたい。

(2) 監査委員事務局に対する要望等 該 当 な し

